

渡島・檜山地方の気象

平成24年12月(2012年)

函館海洋気象台

平成25年1月30日

◎ 気象概況

この期間の天気は、冬型の気圧配置で雪の降る日が多かった。6～7日にかけては発達した低気圧の通過により暴風雪となり大荒れの天気となった。上旬と下旬は強い寒気の影響を受けて平年より気温の低い日が多く、下旬は平年よりかなり低かった。

月平均気温は平年より低く、月降水量は一部を除いて平年並～平年より多く、月間日照時間は平年並～平年より少なかった。

【上旬】

1日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。2日は、冬型の気圧配置で日本海側は曇って明け方まで雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。3日は、気圧の谷の影響で曇って昼過ぎから雪や雨の降った所があった。4日は、低気圧を含む気圧の谷の通過で雨が降った。5日は、冬型の気圧配置で雪が降った。6日は、発達した低気圧の通過で雨や雪が降った。7日は、冬型の気圧配置で雪が降った。8日は、東北地方を通過した低気圧の影響で雪が降った。9～10日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、一部で晴れた所があった。

【中旬】

11～13日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。14日は、気圧の谷の通過で曇って夕方まで雪が降った。15日は、低気圧を含む気圧の谷の接近で曇って昼過ぎから雨や雪が降った。16日は、気圧の谷の影響で雪や雨が降った。17日は、気圧の谷の影響で曇って明け方まで雪の降った所があった。18日は、北海道付近を通過した低気圧の影響で雪が降った。19日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。20日は、冬型の気圧配置で雪が降った。

【下旬】

21日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、昼前から曇った。22日は、気圧の谷の通過で雪が降った。23日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。24日は、冬型の気圧配置は緩み概ね晴れた。25日は、発達中の低気圧の通過で雪が降った。26日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが、太平洋側では晴れた所があった。27日は、冬型の気圧配置で雪が降った。28日は、冬型の気圧配置で雪が降ったが昼過ぎから曇った。29日は、高気圧に覆われ概ね晴れた。30日は、前線を伴った低気圧の通過で雪や雨が降った。31日は、冬型の気圧配置で雪が降った。

気 温：各地点の月平均気温は $-3.8 \sim -0.2$ °Cで、平年差は $-2.7 \sim -1.5$ °C。
 すべての地点で平年より低かった。特に、長万部、八雲町八雲、松前、八雲町熊石、せたな町瀬棚、今金、厚沢部町鶉、江差では平年よりかなり低かった。

降 水 量：各地点の月降水量は 35.5 ~ 137.0 mmで、平年比は 45 ~ 153 %。
 北斗、福島町千軒では平年より少なく、函館市川汲、奥尻町稲穂、江差、上ノ国町石崎では平年より多く、そのほかの観測点では平年並だった。

日照時間：各地点の月間日照時間は 14.9 ~ 92.8 時間で、平年比は 40 ~ 102 %。
 長万部、八雲町八雲、函館市川汲、函館市美原、木古内、松前、八雲町熊石では平年並で、そのほかの観測点では平年より少なかった。特に、せたな町瀬棚、奥尻町稲穂では平年よりかなり少なかった。

◎ **気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の統計値**

	気温 (°C)		降水量		日照時間		降雪の深さ	月最深積雪
	月平均	平年差	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (時間)	平年比 (%)	月合計 (cm)	(cm)
函 館	-1.7	0.0	84.0	99	87.6	94	97	28
江 差	-0.4	-2.1	122.5	124	26.5	75	76	18

(平年比・差は 1981 年から 2010 年までのデータで算出した平年値を用いて求めている。)

◎ **気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）の極値更新表**

なし

◎ **異常気象および気象災害発生状況**

《12月6-7日 渡島地方》

概 況：日本海西部の前線を伴った低気圧が、6日には急速に発達しながら北海道の西海上を北上し、7日朝にはサハリン付近に進んだ。このため6日~7日にかけて雪を伴った非常に強い風が吹き、大しけとなった。

気象現象名：強風・降雪または積雪・波浪

気象災害名：強風害・雪圧害・海上波浪害

気象観測値：

観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
最低海面気圧	993.8hPa	12月6日 12時24分	函館
最大風向・風速	西 16.1m/s	12月6日 14時59分	函館
最大風向・風速	南西 20.4m/s	12月6日 12時41分	高松(a)
最大瞬間風向・風速	南西 27.9m/s	12月6日 10時47分	函館
最大瞬間風向・風速	西南西 28.6m/s	12月6日 23時51分	熊石(a)
降雪の深さ日合計最大	4cm	12月7日	函館
最深積雪	4cm	12月7日	函館
最深積雪	12cm	12月7日	森
積雪差日計0-24	13cm	12月7日	森

被害状況：強風による転倒・屋根からの転落による軽傷（2名：函館市）。また管内の多くの市町（木古内町を除く市町）で、住家の一部損壊（30棟）、農業被害（69か所）、停電2579戸。その他、交通機関（JR：38便運休・4便遅延、航空：18便欠航、遅延6便、フェリー：46便欠航、路面電車：17本運休）学校関係（休校：4校、登下校変更21校）などに被害をもたらした。

《12月6-7日 檜山地方》

概況：日本海西部の前線を伴った低気圧が、6日には急速に発達しながら北海道の西海上を北上し、7日朝にはサハリン付近に進んだ。このため6日～7日にかけて雪を伴った非常に強い風が吹き、7日夕方にかけて猛烈なしけとなった。

気象現象名：強風・降雪または積雪・波浪

気象災害名：強風害・雪圧害・沿岸波浪害・海上波浪害

気象観測値：

観測項目	観測値	起時・期間	観測地点
最低海面気圧	991.4hPa	12月6日 11時31分	江差
最大風向・風速	西南西 20.2m/s	12月6日 15時15分	江差
最大風向・風速	西 28.9m/s	12月6日 14時23分	奥尻
最大瞬間風向・風速	西南西 30.2m/s	12月6日 15時12分	江差
最大瞬間風向・風速	西 37.8m/s	12月6日 14時21分	奥尻
最深積雪	4cm	12月7日	鶉
積雪差日計0-24	4cm	12月7日	鶉
最大波高	15.9m	12月6日17時	上ノ国
有義波高	10.0m	12月6日17時	上ノ国
有義波高	10.0m	12月6日17時0分	上ノ国

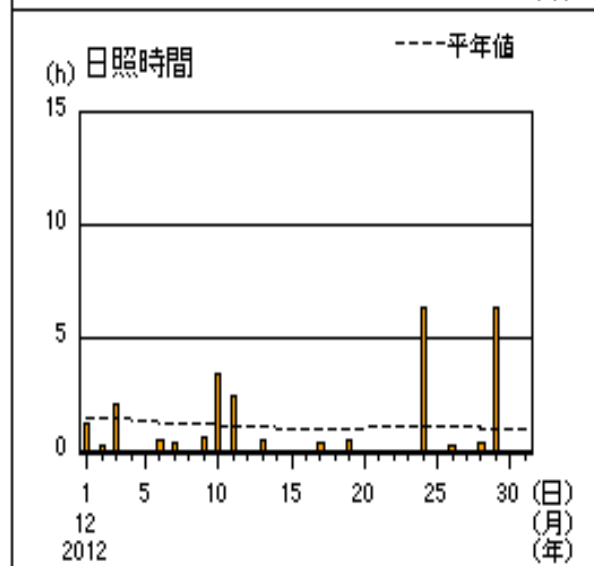
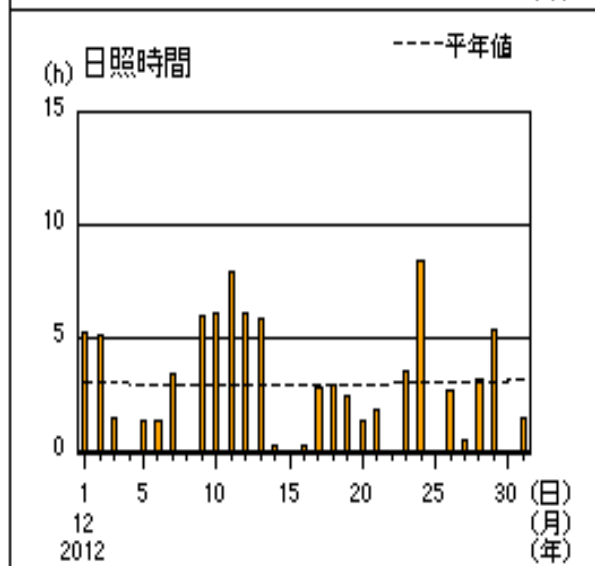
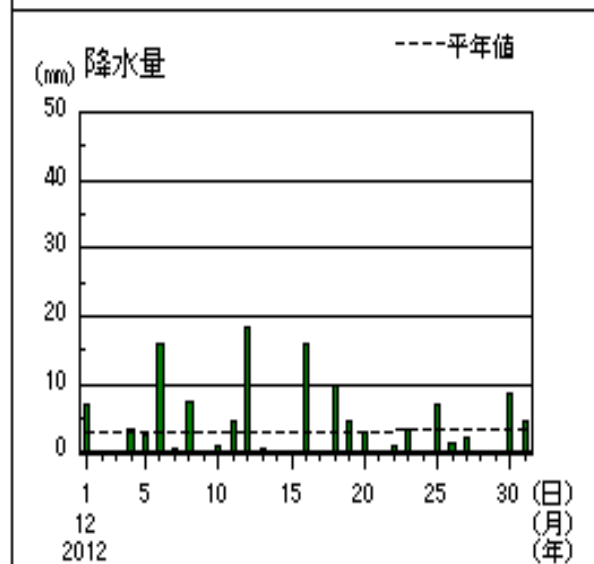
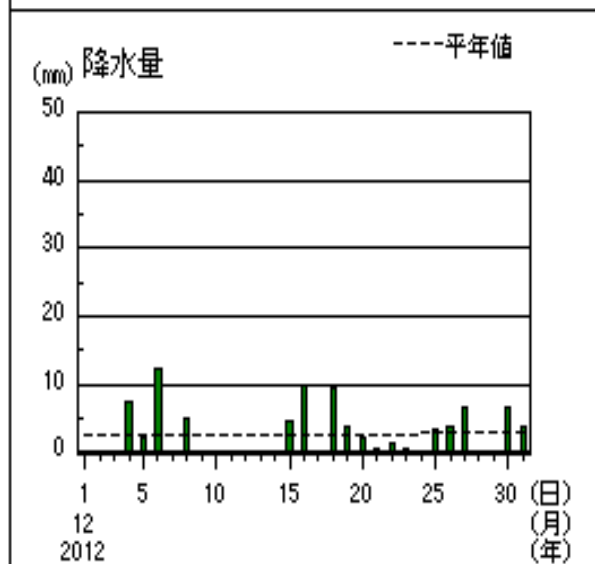
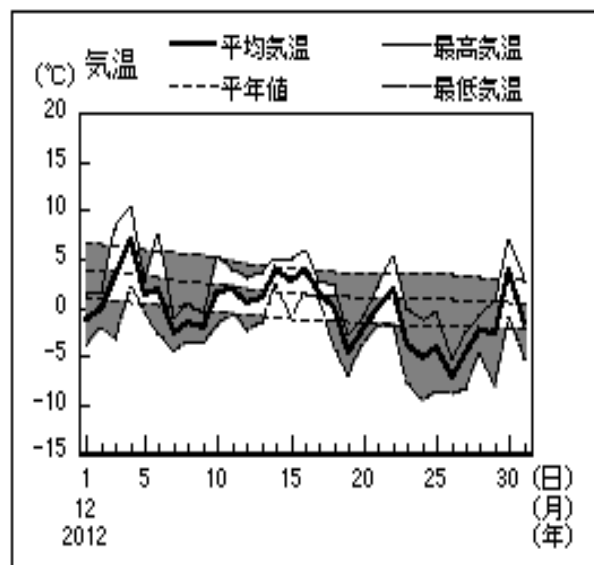
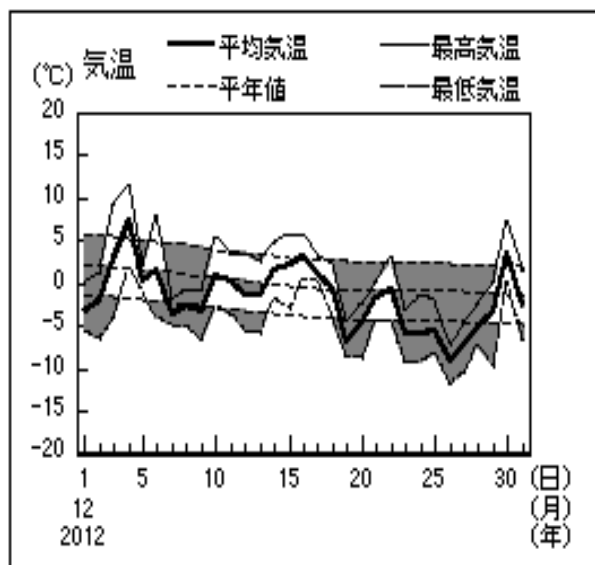
被害状況：屋根からの転落による軽傷（1名：奥尻町）。せたな町・奥尻町で、住家一部損壊（1棟）、非住家損壊（4棟）、農業被害（2か所）、越波による通行止め（2件）。また、せたな町（1820戸）、今金町（210戸）で停電被害。その他、交通機関（JR：5便運休、航空：4便欠航、フェリー：4便欠航）の運行に影響があった。

◎ 气象経過図（12月）

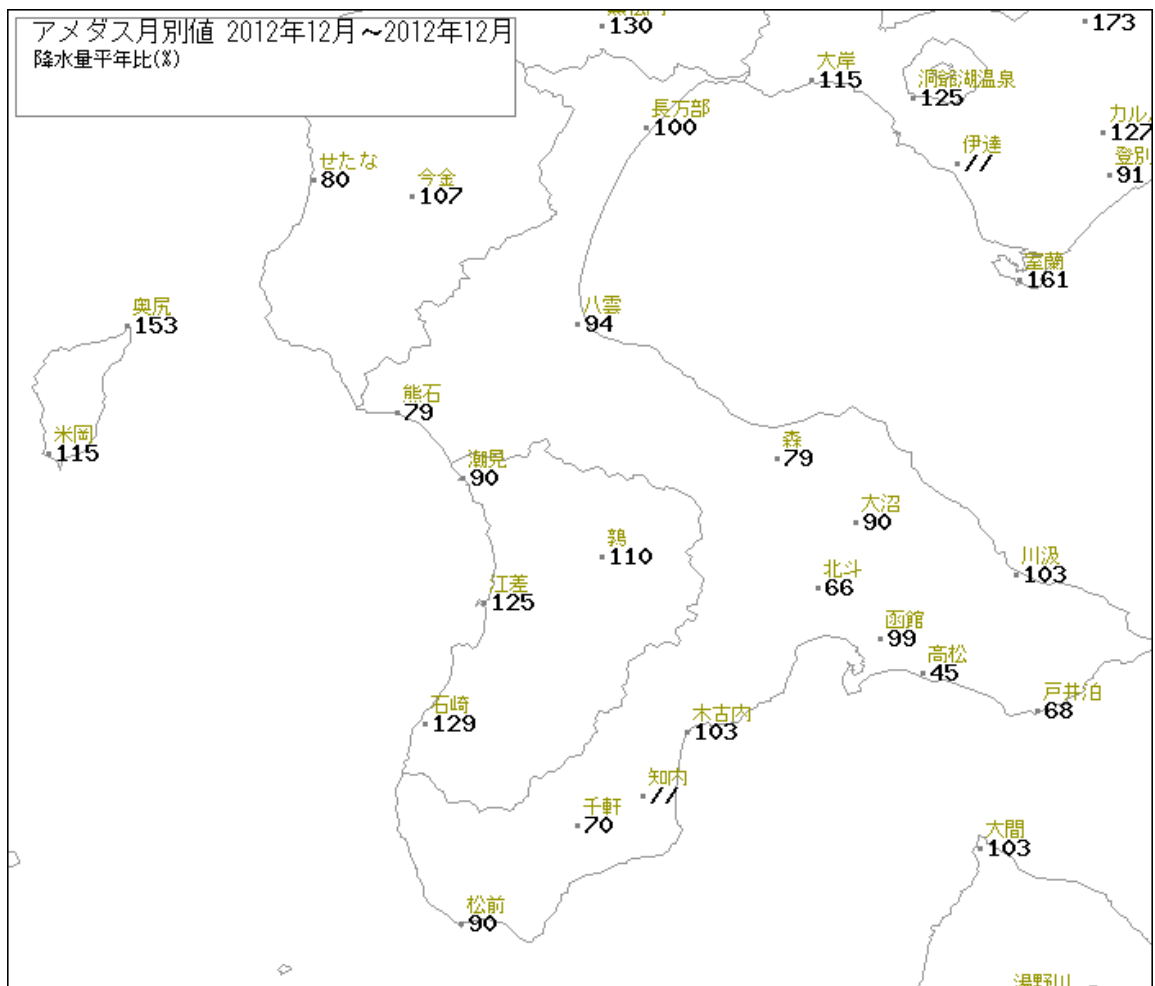
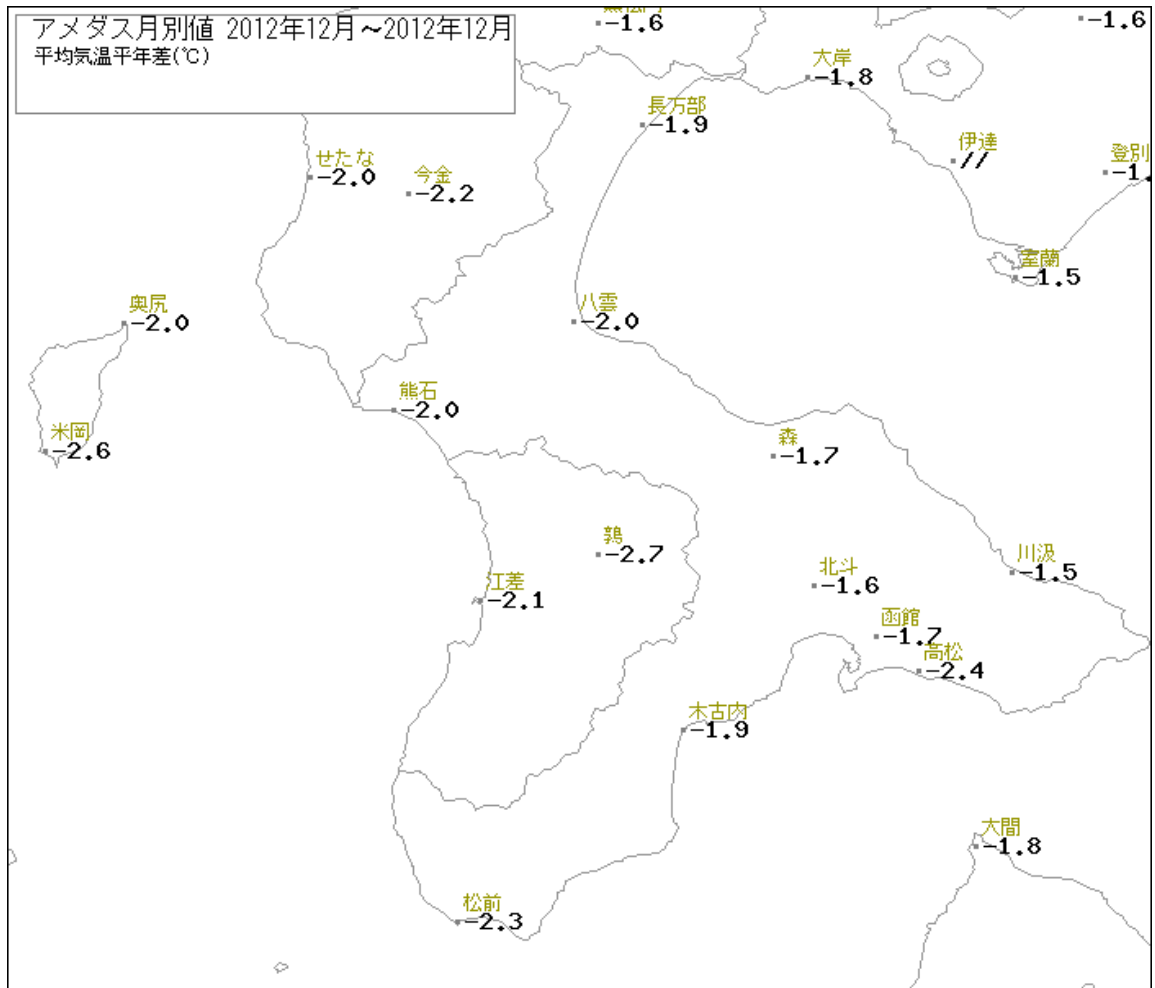
地上气象：2012年12月1日-2012年12月31日

函館

江差



◎ 気象分布図（12月）



アメダス月別値 2012年12月～2012年12月
日照時間平年比(%)

